



「久米島町で初!!フェリーでバリアフリー体験!!」

「お年寄りや障がいのある人などの気持ちになって、心のバリアを取り除こう」

沖縄総合事務局では、高齢者、視覚障がい者、身体障がい者の疑似体験や介助体験等を通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成する等の「心のバリアフリー」を目指し、平成13年度以降バリアフリー教室を開催しています。



車いす体験

10月27日(月)、久米島町教育委員会、久米島町社会福祉協議会からの協力を得て、久米島町としては初となる、フェリー琉球(久米商船株)の船内でバリアフリー教室を開催しました。当日は、久米島町立久米島小学校5年生13名、6年生7名の合計20名の方に参加していただきました。

体験を終えて児童からは「車いすやいろんな障がいを持っている人は大変だなと思いました。」「介助する時は、相手が自分の思ったとおりに動かないので、説明するのが難しかった。」「身の回

りに障がいを持った人がいたら、声をかけてあげたい。」など疑似体験で学んだ感想を話していました。

体験終了後には、フェリー琉球の縦室など普段は入れないところを見学する「おまけ」付きがあったこともあり、みんな大興奮の様子でした。

沖縄総合事務局としては、今後も「バリアフリー教室」の開催を通じて、より多くのみなさまにバリアフリー化社会の実現についての理解を深めて頂くとともに、「心のバリアフリー」を積極的に推進していきたいと思っています。



高齢者疑似体験



視覚障がい者疑似体験